

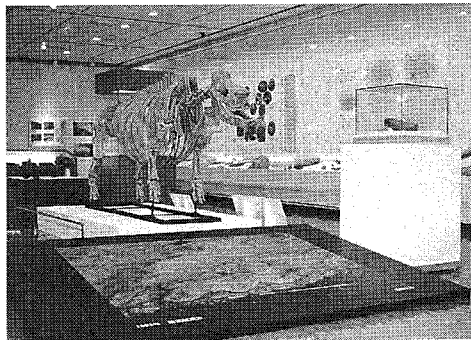
「美濃加茂にサイやゾウがいた頃」展

(1) 趣旨

美濃加茂盆地にすんでいた古生物の解明と最近の研究成果の紹介及び古環境を証明し自然への理解を深めることを目的としました。

美濃加茂とその周辺の地域は、豊かな水の流れと肥沃な大地に恵まれたところであり、人々は、この土地で生まれ、育ち、文明を築いてきました。

ずっとむかしの美濃加茂の古環境はどうだったのだろうか、そんな疑問を持っている人たちは多いはずです。長い時間の中で形作られてきた自然はいったいどんな変化をしてきたのか、この地域にはどんな生き物がいて、どんな環境だったのかこれらを知る手がかりとなるのが、この地域で豊富に産出する化石や岩石・鉱物です。化石やその周辺の地層を調べていくと、豊かな森、そこに生息する動植物たちの姿を復元することができます。



(2) 会期 2003 (平成 15) 年 7 月 10 日 (木) ～ 8 月 31 日 (日) < 53 日間 >

(3) 観覧料 一般 300 円 (200 円)、小中学生 150 円 (100 円)

() は 20 名以上の団体料金及び、かるちすくらぶ料金

(4) 会場 企画展示室、美術工芸展示室

(5) 展示点数 ゾウの化石・サイの化石・サイの骨格標本等 約 200 点

(6) 関連事業

① 記念講演会「発見・なぞ解き・復元」- 東濃地方の古生物 -

(2003 年 8 月 9 日 (土) 10:00 ～ 12:00 / 会場: 緑のホール / 参加料無料)

講師 糸魚川淳二氏 (豊橋市自然史博物館館長・名古屋大学名誉教授)

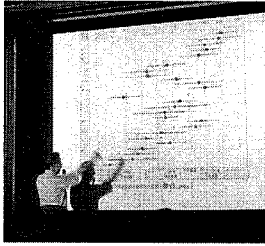
② シンポジウム「瑞浪層群の古環境」- 中新世の美濃加茂盆地・陸域の古環境を探る -

(2003 年 8 月 9 日 (土) 13:00 ～ 16:00 / 会場: 緑のホール / 参加料無料)

コーディネーター 糸魚川淳二氏 (豊橋市自然史博物館館長・名古屋大学名誉教授)

パネリスト

層序・年代 鹿野勘次氏（岐阜県立岐山高等学校教頭） 林 譲治氏
（岐阜県立各務原高等学校教諭） 野村隆光（愛知県立
尾北高等学校期限付教諭）



哺乳動物 川合康司氏（加茂郡東白川中学校校長）
古植物 寺田和雄氏（福井県立恐竜博物館古生物学職研究員）
伊那治行氏（愛知県立旭稜高等学校教諭）
斉藤 毅氏（名城大学理工学部一般教養地学研究室）
魚 類 中島経夫氏（滋賀県立琵琶湖博物館専門学芸員）
海綿・貝類 松岡敬二氏（豊橋市自然史博物館学芸員）

③ミュージアムトーク（企画展解説）

（2003年7月27日（土）、8月3日（日）11:00～12:00・14:00～15:00/会場：企画展示室
・美術工芸室/参加料企画展入場料）

④自然観察会（地質と岩石の観察）

（2003年8月23日（土）、13:30～15:30/会場：工芸室/参加料300円）

⑤アートな1日講座（化石のレプリカ作り）

（7）図録 美濃加茂にサイやゾウがいた頃 A4版、P51、800円

執筆：鹿野勘次氏（岐阜県立岐山高等学校教頭） 川合康司氏（加茂郡東白川中学校
校長）